

JMAP に代わる新しい発達検査 Assessment for Developmental Abilities in Psychology and Physiology (ADAPP)のためのデータ収集者募集のお知らせ

日本感覚統合学会検査開発委員会

委員長 加藤寿宏 ADAPP 開発担当 岩永竜一郎

日本感覚統合学会は、2027 年の完成を目指し、JMAP に代わる新たな発達検査 ADAPP の標準化を進めています。現在、約 600 名のデータを収集したところです。最終的には全国で 1200 名のデータを収集することを目指しています。標準化において、人口統計にもとづき収集するため、全国各地域の先生方を対象に ADAPP のデータ収集者を募集しております。

データ収集にご協力いただける先生には、2026 年 3 月 15 日にオンラインで ADAPP の実施方法の講習会を実施させていただきます（詳細については申込者にメールで通知）。講習会に先立ち、ご協力いただける方に ADAPP の検査キットをお送りします。データ収集に協力してくださる先生方には講習会終了後 3 ヶ月の間に定型発達児 5 名分(もしくは 25 名)のデータを収集していただけるとありがたいです。多くの方のご協力をお願いいたします。

■データ収集者の条件

- 1, 感覚統合療法認定講習会 A コースを修了した方、または感覚統合学会講師による JMAP 講習会（学会主催でも自主開催でも OK）を受講した方
- 2, 以下のいずれかの条件でデータ収集が可能な方。
 - ①3～10 歳までの定型発達児（障害児のきょうだいは不可）5 名以上のデータ収集が可能な方
 - ②2 名以上の test-retest ができる方。test-retest とは、1 名のお子さんに 2 回データ収集を行います。具体的には、A くん of データ収集を行い、2 週間～1 ヶ月の間にもう一度、A くん to 検査をし、データをとります。ご自分のお子さんの場合、データ収集が容易です。
- 3, データ収集開始前に、検査が正しく実施できるか否かのチェックをさせていただく場合があります。検査の信頼性・妥当性が損なわれると判断した場合は、データ収集をお断りすることもあります。

■データ収集者への謝金

- 1, データ収集者には謝金はありません。説明会では、参加費、資料代は必要ありません。
- 2, 対象者（お子さん）にはおもちゃ券（1000 円分）をお渡しいたします。

■データ収集にかかる時間

検査時間は年齢により異なりますが 1 時間 30 分程度です。2 回に分けての実施も可能です。

■データ収集者のメリット

ADAPP が市販されますと、講習会が開催されますが、その講習会に無料で参加できます。

1 人、またはチームで 25 名のお子さんのデータを収集した場合、ADAPP を 1 台差し上げます。

■データ収集期間

検査道具を個人に 3 ヶ月間お貸しいたします。その間にデータ収集をお願いいたします。

1 人またはチームで 25 名分のデータを収集する場合は説明会から 6 ヶ月後まで to お願いいたします。

■応募方法

氏名（ふりがな）、職場、職場住所、職場電話番号、自宅住所、PC メールアドレス（携帯電話のメールアドレスは不可）、A コースまたは JMAP 講習会受講年度、データ収集予定のお子さんのおおよその情報（年齢、性別（変更があっても構いません））を記入の上、メールで検査開発委員会

si-test2006@si-japan.net 及び iwanagar@nagasaki-u.ac.jp の両方にご送信下さい。

ご質問、不明な点も上記アドレスのいずれかに送信下さい。2 月 28 日まで to お願いいたします。